

平成 28 年度 第 2 回 東海村国民健康保険運営協議会議事録

1 開催日時	平成 29 年 2 月 22 日 (水) 14 時から 15 時まで
2 場 所	東海村役場 別館 102 会議室
3 出席者 (敬称略)	< 公益代表委員 > 岡崎 悟 (会長), 川野 正高 (会長代理) < 保険医代表委員 > 石川 誠 < 被保険者代表委員 > 井坂 愛子, 福地 さか江 < 事務局 > 中村福祉部長, 富田福祉保険課長, 高野福祉保険課長補佐, 齋藤福祉保険課係長
4 欠席者	尾形 孝
5 公開または 非公開の別	公開
6 非公開の 理 由	—
7 議 題	議案第 1 号 平成 28 年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算 (案) について 議案第 2 号 平成 29 年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 (案) につ いて
8 配布資料	・平成 28 年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算 (案) ・東海村国民健康保険事業特別会計平成 29 年度予算 (案) [概要版] ・平成 29 年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 (案) [詳細版]
9 発言内容	<p>■ 議事進行 会長</p> <p>■ 議事</p> <p>事務局) 平成 28 年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算 (案) 及び平成 29 年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 (案) について説明</p> <p>委 員) 補正減は例年に比べて, 多い方か少ない方か。</p> <p>事務局) 多い方だ。被保険者数が減少傾向にある。</p> <p>委 員) 社会保険加入の方々が多くなっているという意味か。</p> <p>事務局) 昨年の 10 月から, 社会保険への加入要件が緩和された</p>

	<p>ことが一因と考えられる。また、75 歳以上の後期高齢者医療制度へ移行している方も多くなってきている。一般会計からの繰入金を減らす努力もしている。</p>
委員)	<p>医療費は、全体的にはどれくらい増えているのか。</p>
事務局)	<p>国としては、40 兆円を超えている。村国保では、0.1 パーセントくらいから、高額医療費など内容によっては 0.3 パーセントくらい増えている。</p> <p>被保険者数は減少傾向にあるが、一人当たりの医療費は増加傾向にある。平成 29 年度予算では、歳入不足により、歳出額の一般被保険者療養給付費を抑えている。補正で対応する予定である。</p>
委員)	<p>特定健診の受診者は減っているのか。</p>
事務局)	<p>人間ドックの実施者が伸びている状況。集団健診で待つのが嫌な方には、施設健診として病院で受診をしていただいている。</p>
委員)	<p>平成 29 年度予算のところで、後期高齢者支援金等と介護納付金が減額されている。後期高齢者が増えているのに、予算が減になっているのはなぜか。</p>
事務局)	<p>後期高齢者は、全国的に人数や医療費を調整した上で、国保の被保険者数に応じて、社会保険診療報酬支払基金から提示された額となっている。被保険者数の減少とも関係している。実際に予算を立てた平成 28 年の秋の実績の額を計上している。</p>
委員)	<p>後期高齢者は 1 割の自己負担。残りの 9 割は、この支援金から出されているのか。</p>
事務局)	<p>半分は国からで、約 4 割を若い世代からの支援金でまかっている。残りが本人たちの保険料や負担負担だ。</p>

	<p>委員) 決算が少なくなったから、予算も少なくなったのか。決算が少なくなったという説明はなかったが、そういうことは関係ないのか。</p> <p>事務局) 関係はある。平成 27 年度決算額の約 38 億円に対して、平成 29 年度予算は 35 億円なので、減となっていることは確かだ。</p> <p>■その他事項</p> <p>事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度開始の新国民健康保険制度について <p>事務局) 本日のすべての日程が終了した。以上をもって、平成 28 年度第 2 回東海村国民健康保険運営協議会を終了させていただきたく。御協力に感謝申し上げます。</p>
10 結 果	議題について了承。